



南部町立南部中学校 学校だより 第3号

チーム南部中

令和3年5月25日(火)

校長 望月和彦

授業の内容・方法・評価などが変わります

新年度がスタートして1ヶ月半ほど経ち、生徒たちは新しい学年や新しいクラスでの生活、新しい教員の授業にも慣れ、どの教室を覗いても集中して意欲的に授業に取り組んでいる様子が見られます。例年通りの授業が行われているように見えますが、今年度は昨年度までと授業の内容や方法が変わったことがあるのでお伝えします。

小中学校や高校は、日本全国どこの学校でも一定の教育水準が保てるように文部科学省が定めている教育課程（学校の教育内容、各教科の目標や内容、授業時数などの計画）の基準、いわゆる「学習指導要領」というものに従って教育活動が進められています。この学習指導要領は子どもたちの変化や社会の変化に応じて改訂されることがあり、中学校では今年度が新しい学習指導要領の完全実施の年なのです。今までと変化することをいくつかあげると

- ① 今後、子どもたちに必要とされる能力や資質を考え、指導要領の示す内容に沿って「教科書」が新しくなりました。（一部昨年度までの教科書を使う教科もあります）
- ② 「主体的・対話的で深い学び」の視点から「何を学ぶか」だけでなく、「どのように学ぶか」も重視した授業になります。（学習の見通しや振り返り、意見交換、活用や探求、問題解決や創造などが重視されます）
- ③ 学習を評価する観点「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「技能」「知識・理解」の4観点から、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点になります。（通信表も同じように観点ABCの項目が変わります）
※通信表の評価の見方等については、後日文書でお知らせする予定です。
- ④ GIGA スクール構想（全国の児童・生徒1人に1台のコンピュータと高速ネットワークを整備する文部科学省の取り組み）に関わってICTを活用した授業が進められます。

上の④の内容に関しては、目に見える形では、昨年度の内に普通教室と理科室、音楽室などに大型テレビが整備され、今年度に入って、1人1台のタブレットが使えるようになり、国語・社会・英語・理科ではデジタル教科書（パソコンやモニターを使って見ることができ教科書で、拡大表示、動画や音声の再生、書き込みや保存、図形を動かすなどができる）も使えるようになりました。これら整備していただいた教育機器を活用して、子どもたちに今求められている能力や資質を育てられる、楽しくてわかる授業づくりに取り組んでいきます。



↑「デジタル教科書」を使った英語の授業



↑1人1台の「クロムブック」を使った調べ学習



↑理科の「対話的な学習」

保護者の皆さんとの繋がりを大切にしています

～「PTA総会・学年部会・学級懇談会」と「家庭訪問・教育相談」～

4月29日（木）PTA総会・学年部会・学級懇談会を開催しました。（昨年度は臨時休業のために書面開催でした。）何もなければPTA総会の前に授業を参観していただく予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大が続いていたので、授業参観は中止とさせていただきます。昨年度のPTA活動の総括と今年度の組織や活動計画、予算などが承認され、来年度のPTA組織を簡素化する改定案も議決されました。本校の保護者の皆様が一堂に会する唯一の機会ですので、議事終了後には、学校から教育活動に関わって保護者の皆様に知っておいてほしい内容の説明や職員紹介をさせていただきました。木内宏貴会長をはじめとする旧PTA役員の皆様、ご支援ご協力ありがとうございました。そして朝夷輝和新会長をはじめとする新役員の皆様、一年間よろしくお願いいたします。



PTA総会后に、学年部会と学級懇談会が行われました。学年部会では学年行事や学年会計などについての話し合いが行われ、最後の学級懇談会では、授業や部活動のこと、家庭学習や進路のこと、ネットやゲームのことなど様々な話題について学級担任と保護者の皆さんが膝を交えて話をすることができたようです。お忙しい中、たくさんの保護者の皆様に参加していただきありがとうございました。



また、5月10日（月）から17日（月）まで1年生の保護者に対して家庭訪問、2・3年生保護者には希望をとって教育相談を行いました。保護者の皆様の考えや願いを聞くことができたり、家庭や学校での生徒の様子を互いに共有できたりしました。短い時間でしたが、こうした取り組みを続けていくことが、家庭と学校の相互の信頼関係を強め、健やかな生徒の成長の手助けとなっていくと考えています。今後も、7月と12月には三者面談（3年は希望で11月にも）があり、学校開放日や授業参観、輝城祭や音楽発表会などの参観していただける行事があります。気になることや心配になることはもちろん、生徒を褒めてあげられる良い話題などもありましたら、学級担任、学年職員等、部活動顧問、養護教諭などに伝えていただきたいと思います。お電話でもかまいません。

集団行動

南部中文化の一つに「集団を磨く集団行動」があります。軍隊の規律訓練と同じではないかと思われがちですが、根本的に違います。皆が平等で、思いやりを持ちながら互いに意見を出し合って、より美しい演技を創ろうとしているところです。円陣を組み話し合ったり、互いにチェック合ったり、先輩に教えてもらう時間もありました。輝城祭で発表する予定です。



生徒集会（報道委員会）

5月7日に報道委員会が「新任の先生の話を知ろう」という企画で生徒集会を開きました。トップバッターは佐野希教諭でした。「チームで実力を発揮するためには？」というテーマで、男子バスケット部の部員の力を借りて、生徒が乗ったイスを持ち上げる実験を見せてくれました。その結果から「プラス思考の声かけ」と「同調すること」がいかに大切かを教えてくれました。

